

その他(4)

令和3年度新潟県立図書館運営に対する評価について

このことについて、別紙のとおり報告する。

令和4年7月25日
新潟県教育委員会教育長
佐野 哲郎

1 趣旨

図書館法第7条の3の規定に基づき、令和3年度の県立図書館の運営状況について、評価を実施したもの。評価は、指標に基づく自己評価と図書館協議会による外部評価から構成

2 評価対象期間

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

3 評価方法

(1) 評価指標について

令和3年2月、県立図書館において新潟県立図書館運営基本指針（R3～R5年度）及び行動計画策定 ⇒ 行動計画において指標・各年度の目標値を設定

(2) 評価の考え方

○定量評価（各指標の達成進捗状況を5段階で評価）

目標達成率	評点
100%以上	5
90～100%	4
80～90%	3
70～80%	2
70%未満	1

○総合評価（定量評価を踏まえ、その他の成果や課題等も加味して総合評価区分を決定）

評価基準	評価の目安	評価
成果を上げている	4.5以上	A
順調に進んでいる	3.5以上4.5未満	B
概ね順調に進んでいる	2.5以上3.5未満	C
順調に進んでいるとはいえない	1.5以上2.5未満	D
事業の見直しが必要	1.5未満	E

4 図書館協議会からの評価

自己評価に対する意見及び、その他図書館運営に関する意見を評価

新潟県立図書館運営基本指針（R3～5年度）

1 地域社会への貢献

地域に向き合い、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」の実現を支えます。

- ✓ 県の行政施策と連携した取組
 - ・ 県の行政施策をテーマとした展示の開催
 - ・ 県の重点施策と関連した図書コーナーの設置
 - ・ 県作成のポスター、パンフレット等の掲示・配布
- ✓ 文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用
 - ・ 郷土資料の積極的収集・保存
 - ・ 越後佐渡デジタルライブラリーの充実
 - ・ 郷土人物／雑誌記事索引データベースの充実

2 県内図書館への貢献

県内図書館相互で顔が見える関係づくりをし、図書館サービスの向上に取り組みます。

- ✓ 県内図書館等が実施するサービスへの支援
 - ・ 県内図書館等の貸出サービスへの支援
 - ・ 県内図書館等への訪問事業
- ✓ 県内図書館等職員の人材育成
 - ・ 県内図書館等職員対象の各種研修の開催

3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

誰もが尊重される共生社会の実現を目指して、県民一人ひとりの「知りたい・読みたい」を応援します。

- ✓ 県民の読書環境の整備
 - ・ 読書が困難な県民のための利用環境整備
 - ・ 子どもや若い世代向けの読書推進の取組
- ✓ 県立図書館職員の能力の育成
 - ・ 県立図書館職員の幅広い分野の研修、セミナー等への派遣

新潟県立図書館運営基本指針 行動計画指標一覧

項目名	指標	現状値※	目標		
			R3	R4	R5
1 地域社会への貢献					
(1) 県の行政施策と連携した取組					
① 県各部署とのコラボ展示	ギャラリー展示回数	—	2回	6回	6回
② 特設コーナーにおける県行政施策の広報	コーナー展示回数	—	8回	24回	24回
③ 県各部署への情報提供の拡大	県庁貸出冊数	50冊	100冊	120冊	120冊
(2) 文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用					
① 新潟県関係資料の積極的収集	—	—	—	—	—
② 越後佐渡デジタルライブラリーの充実	デジタル化画像数 アクセス件数	890点 9,900件	1,000点 12,000件	1,000点 12,000件	1,000点 12,000件
③ 郷土人物/雑誌記事索引データベースの充実	データベース収録数 アクセス件数	2,000件 4,400件	2,500件 5,300件	2,500件 5,300件	2,500件 5,300件
2 県内図書館への貢献					
(1) 県内図書館等が実施するサービスへの支援					
① 県内図書館等への協力貸出の充実	協力貸出冊数	13,000冊	15,000冊	16,000冊	17,000冊
② 県内図書館等への訪問の充実	訪問等回数(研修以外)	11回	20回以上	20回以上	20回以上
③ 県立高等学校図書館への支援	高等学校協力貸出冊数	約50冊	50冊	120冊	150冊
(2) 県内図書館等職員の人材育成					
各種研修会等の実施	研修会等参加人数(訪問研修以外) 市町村訪問研修回数 訪問研修メニュー数	95人 7回 3	200人 10回以上 4	200人 10回以上 5	200人 10回以上 5
3 県民の生涯にわたる学びへの貢献					
(1) 県民の読書環境の整備					
① 利用サービスの改善	入館者数 個人貸出冊数 レファレンス協同データベース登録件数 SNSへの記事掲載回数	約27万人 約41万人 30件 —	30万人 42万冊 30件 24回	40万人 45万冊 40件 120回	40万人 45万冊 40件 120回
② 読書に困難のある県民へのサービスの充実	サビエ資料の貸出冊数	約200点	220点	240点	260点
③ こどもや若い世代の読書推進	—	—	—	—	—
(2) 県立図書館職員等の能力の育成					
職員の研修機会の充実	職員全体研修会の開催 館内研修における職員の発表回数 職員の研修・会議等参加平均回数(全体研修を除く)	1回 5回 1.0回	2回 10回 2回	2回 10回 2回	2回 10回 2回

※現状値は、令和2年度の実績見込み値(計画策定時点、1(2)③のデータベース収録数のみR1年度実績)

令和3年度 新潟県立図書館運営基本指針行動計画に係る評価一覧

1 地域社会への貢献

項目名	指標	目標	実績	達成率	評価
(1) 県の行政施策と連携した取組	ア ギャラリー展示回数	2回	5回	250%	A
	イ コーナー展示回数	8回	24回	300%	A
	ウ 県庁貸出冊数	100冊	160冊	160%	A
(2) 文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用	エ 越後佐渡DL デジタル化画像数	1,000点	935点	94%	B
	オ 越後佐渡DL アクセス件数	12,000件	10,434件	87%	C
	カ 郷土人物/雑誌記事索引DB データベース収録数	2,500件	3,835件	153%	A
	キ 郷土人物/雑誌記事索引DB アクセス件数	5,300件	3,928件	74%	D

2 県内図書館への貢献

項目名	指標	目標	実績	達成率	評価
(1) 県内図書館等が実施するサービスへの支援	ア 協力貸出冊数	15,000冊	15,018冊	100%	A
	イ 訪問等回数(研修以外)	20回	15回	75%	D
	ウ 高等学校協力貸出冊数	50冊	108冊	216%	A
(2) 県内図書館等職員の人材育成	エ 研修会等参加人数(訪問研修以外)	200人	188人	94%	B
	オ 市町村訪問研修回数	10回	12回	120%	A
	カ 訪問研修メニュー数	4	4	100%	A

3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

項目名	指標	目標	実績	達成率	評価
(1) 県民の読書環境の整備	ア 入館者数	300,000人	296,418人	99%	B
	イ 個人貸出冊数	420,000冊	457,894冊	109%	A
	ウ レファレンス協同データベース登録件数	30件	32件	106%	A
	エ SNSへの記事掲載回数	24回	65回	271%	A
	オ サビエ資料の貸出冊数	220点	233点	106%	A
(2) 県立図書館職員等の能力の育成	カ 職員全体研修会の開催	2回	2回	100%	A
	キ 館内研修における職員の発表回数	10回	6回	60%	E
	ク 職員の研修・会議等参加平均回数(全体研修を除く)	平均2回	平均2.6回	129%	A

行動計画に係る評価に関する図書館協議会の意見（概要）

1 地域社会への貢献

(1) 県の行政施策と連携した取組	<ul style="list-style-type: none"> ・展示については、効果的な取組であり、目標達成を評価。県民の意見聴取（アンケート）を行うなど、改善方策の検討も必要 ・他館での事例も参考に取組の推進を期待
(2) 文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・文書館等と連携した取組が必要 ・越後佐渡デジタルライブラリーの二次利用条件明示は高く評価。他サービス利用との相乗効果に期待 ・郷土人物/雑誌記事索引データベースについては、小・中学校や市町村図書館等とのさらなる連携とともに、利用件数増を図る改善が望ましい。

2 県内図書館への貢献

(1) 県内図書館等が実施するサービスへの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村図書館への働きかけが重要。利用動向の把握が必要 ・県内図書館への訪問については、コロナ禍での取組評価の一方、目標達成は不可欠 ・高等学校への貸出、学校図書館司書への支援充実を期待
(2) 県内図書館等職員の人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の実施について、コロナ禍での着実な取組推進を評価 ・障害者サービス研修は有意義 ・市町村図書館の要望を踏まえた研修の充実を期待

3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

(1) 県民の読書環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時休館中のサービス継続、展示情報発信の取組を評価 ・ウィズコロナを見据え、図書以外の施設利用の工夫も必要 ・レファレンス協同データベース登録の取組は高く評価 ・引き続き、サビエ図書館サービスについてPRが必要 ・若者向けや児童・保護者等への情報発信が必要
(2) 県立図書館職員の能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・着実な実施を評価する部分もあるが、目標未達成の項目の達成は不可欠 ・県立図書館司書の能力向上・確保は、県内図書館全体に影響し非常に重要 ・オンライン環境の充実と、研修機会の確保が必要

その他図書館運営に関する図書館協議会の意見

- 現行の「新潟県立図書館運営基本方針」はコロナ禍以前に策定したもの。コロナ禍での経験を踏まえ、「思い切って踏み出すような」新規取組の検討と実施が求められる。
- 令和3年度に実施した「利用者アンケート」及び「市町村立図書館等への意見照会」（生涯学習推進課実施）により果たすべき役割が一層明確になったと考える。求められる図書館像を目指し、運営に努めてもらいたい。
- 県立図書館が学習拠点となっていることを評価するとともに、より発展させるための仕組みを考える必要がある。
- 評価の意義は、図書館が「良かれ」と考える運営計画が、図書館にとって「都合の良い」計画ではないことを多くの人の目で確認することにあると考える。
新潟県全地域・全県民の図書館としての役割を果たしていくことを期待する。

令和3年度 新潟県立図書館運営基本指針 行動計画評価シートの概要

◎評価すべき点 ●今後の課題や改善が必要な点

項目名	指標	R3目標	R3実績	達成率 [評価]	総合 評価	主な取組	自己評価コメント	図書館協議会委員意見
1 地域社会への貢献								
(1) 県の行政策と連携した取組								
① 県各部署とのコラボ展示	ギャラリー展示回数	2回	5回 (0回)	250% [5]	A	<ul style="list-style-type: none"> 県各部署に県施策PR展示を呼びかけ、展示実施 「県読書おたよりコンクール」入賞作品等の市町村立図書館巡回展示 	<p>◎県行政施策のPRの場としての図書館利用の理解が得られ、目標を達成</p> <p>●展示の充実に取り組み、県民への周知につなげる。</p>	<p>◎目標達成を評価</p> <p>◎効果的な取組であり、月替わり程度の実施が望ましい。</p> <p>●県行政との連携拡大自体が目的でないことを職員間で共有してもらいたい。</p> <p>●伝える相手である県民の意見聴取を行うなど、改善方策の検討も必要</p>
② 特設コーナーにおける県行政施策の広報	コーナー展示回数	8回	24回 (7回)	300% [5]	A	<ul style="list-style-type: none"> 閲覧室内の特設コーナーでの展示スペース活用の呼びかけ チラシ・関連グッズ配布、アンケート実施等と合わせ、関連テーマ図書リスト配布 	<p>◎県行政施策のPRの場としての図書館利用の理解が得られ、目標を達成</p> <p>●県民に向けた情報発信を積極的に行う。</p>	<p>●他図書館でも情報提供やレファレンスサービスにより政策立案に貢献している事例がある。</p> <p>●取組の推進を期待</p>
③ 県各部署への情報提供の拡大	県庁貸出冊数	100冊	160冊 (83冊)	160% [5]	A	<ul style="list-style-type: none"> 運用の改善を図るとともに、各所属、職員にサービスのPRを実施 	<p>◎職員専用ポータルサイトでの呼びかけの効果もあり、目標を達成</p> <p>●資料紹介や調べものお手伝い事例紹介等、利用促進の取組を進める。</p>	

()書きはR2年度実績

項目名	指標	R3目標	R3実績	達成率 [評価]	総合 評価	主な取組	自己評価コメント	図書館協議会委員意見
1 地域社会への貢献								
(2) 文化活動としての県民との関わり・活用								
① 新潟県関係資料の積極的収集	-	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 行政資料収集を重点化し、寄贈依頼・受入促進 書庫の実態調査を実施し、保存環境整備を推進 	<p>◎着実な収集により収集数の増加を図った。</p>	<p>●文書館等とも連携し、経年による散逸や破損等を防ぐ保存の取組必要</p>
② 越後佐渡デジタルライブラリーの充実	デジタル画像数	1,000点	935点 (890点)	94% [4]	B	<ul style="list-style-type: none"> 県立図書館ほか県内5機関資料からデジタル画像を追加 	<p>●大判の絵図等の撮影に時間を要し、わずかに目標に及ばず。</p> <p>◎関係機関等と十分調整し、更なる充実を図る。</p>	<p>◎市町村支援の側面もあり、着実な実施を評価</p> <p>◎二次利用条件明示は評価高</p> <p>●参加機関・資料数増、現物と関連図書展示の相乗効果にも期待</p> <p>●新潟の郷土芸能を収録・紹介するデジタル化への取組を要望</p>
	アクセス件数	12,000件	10,434件 (9,780件)	87% [3]	C	<ul style="list-style-type: none"> 画像の二次利用条件明示 HP上でテーマ資料紹介、全国のデジタル画像リンク集開設 定期的な情報更新をツイッター等でPR 	<p>●PRと利便性向上の取組により、前年度比アクセス数だが、目標には及ばず。</p> <p>◎新規利用者の獲得を目指し、さらなるPRを行う。</p>	<p>●館内で利用できるスペースの確保など、貸出・閲覧サービス利用との相乗効果を期待</p>
③ 郷土人物/雑誌記事索引データベースの充実	データベース収録数	2,500件	3,835件 (5,192件)	153% [5]	A	<ul style="list-style-type: none"> データ採録に注力 	<p>◎目標をこえる登録を実施</p> <p>●データベースの充実に努める。</p>	なし
	アクセス件数	5,300件	3,928件 (4,260件)	74% [2]	D	<ul style="list-style-type: none"> 情報更新をツイッターにより発信 	<p>●近年の実績との比較において、相対的に低下</p> <p>●利用者拡大を目指し、より広いPRに努める。</p>	<p>●アクセス件数を増やす工夫が必要</p> <p>●小・中学校や市町村図書館等とのさらなる連携が効果的</p> <p>●利用者数は限定的と想定されるため、利用者拡大よりもニーズや利用状況を把握の上、利用件数増を図る改善が望ましい。</p>

参考資料

項目名	指標	R3目標	R3実績	達成率 [評価]	総合 評価	主な取組	自己評価コメント	図書館協議会委員意見
2 県内図書館への貢献								
⑩ 県内図書館が提供するサービスへの支援								
① 県内図書館等への協力貸出の充実	協力貸出冊数	15,000冊	15,018冊 (12,357冊)	100% [5]	A	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに全市町村図書館を対象とした圖書のセット貸出サービスを実施 ・市町村図書館職員に相互貸借サービスの活用呼びかけ実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●PRとニーズ把握不足により、セット貸出利用は1館にとどまった。 ●市町村図書館からの意見聴取により運用を改善するとともに、活用例を示すなどして利用促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●市町村図書館への働きかけが重要 ●貸出圖書の傾向分析するなど、<u>利用動向の把握が必要</u>
② 県内図書館等への訪問の充実	訪問等回数(研修以外)	20回以上	15回 (18回)	75% [2]	D	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問相談等の実施 ・<u>新型コロナウイルス感染拡大によりオンラインに切り替えるなど臨機応変に対応して実施</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ●より多くの職員が市町村を訪問し、顔の見える関係を築くことで、各館の実状を踏まえたきめ細かい支援につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●<u>コロナ禍での取組を評価する一方で、自らの計画の達成は不可欠</u> ●県立の情報提供、市町村の状況把握とともに、市町村の良い点を参考にすることを期待
③ 県立高等学校図書館への支援	高等学校協力貸出冊数	50冊	108冊 (44冊)	216% [5]	A	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>県立高校へのアンケートを実施し、物流の仕組み、利用方法の簡便化を検討</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ◎アンケート実施により、<u>制度の周知にもつながった。</u> ●アンケート結果を踏まえ、サービスの改善を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●<u>高等学校への貸出や学校図書館司書への支援などの充実を期待</u> ●<u>私立高等学校への支援についても明示が必要</u>

項目名	指標	R3目標	R3実績	達成率 [評価]	総合 評価	主な取組	自己評価コメント	図書館協議会委員意見
2 県内図書館への貢献								
⑪ 県民の活用								
各種研修会等の実施	研修会等参加人数(訪問研修以外)	200人	188人 (238人)	94% [4]	B	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの参加者となるよう、<u>オンライン形式の導入</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ●目標にはわずかに及ばなかったが、今後も、市町村図書館職員のニーズを踏まえた研修充実により、県内図書館のレベルアップを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎<u>コロナ禍での着実な取組推進を評価</u>
	市町村訪問研修回数	10回以上	12回 (8回)	120% [5]	A	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>新型コロナウイルス感染拡大によるオンライン形式への切替など臨機応変に対応して実施</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ◎<u>臨機応変な対応により目標を達成</u> ●今後も、できるだけ市町村図書館の要望に応えられるよう工夫していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎<u>各自治体で読書バリアフリー計画策定が進められる中、障害者サービス研修は有意義</u> ●<u>関係機関との連携による障害者サービスの基盤的な研修実施が必要</u> ●<u>市町村図書館の要望を踏まえた研修の充実を期待</u>
	訪問研修メニュー数	4	4 (3)	100% [5]	A	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>関係機関と連携し、障害者サービス研修を新たに実施</u> ・上記他、レファレンス、資料整理・保存をテーマに、要望に応じて実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◎<u>研修テーマ・内容ともに好評であった。</u> ●<u>訪問研修メニュー多様化を図り、市町村図書館職員のレベルアップにつなげる。</u> 	

項目名	指標	R3目標	R3実績	達成率 [評価]	総合 評価	主な取組	自己評価コメント	図書館協議会委員意見
3 県民の生涯にわたる学びへの貢献								
④ 県民の読書振興の取組								
① 利用サービスの改善	入館者数	300,000人	296,418人 (270,741人)	99% [4]	B	・SNS等でのサービスに関する広報の実施 ・感染拡大による臨時休館中も特設カウンターで予約図書貸出を継続するなど、安全に配慮しつつ可能なサービスを継続	◎安心して利用できる環境確保や基本的サービス維持に取り組み、入館者数は一定程度回復 ●今後、従来サービス再開や新たなサービスに取り組む。	◎臨時休館中のサービス継続は評価でき、目標は達成したとみなすことができる。 ●一方で、ウィズコロナを見据え、カフェ等の再開など、図書以外の施設利用の工夫も必要
	個人貸出冊数	420,000冊	457,894冊 (401,488冊)	109% [5]	A	・効果的・効率的な選書 ・閲覧室内展示の積極的実施と、展示テーマのパスファインダー（調べるためのヒント集）作成 ・書架内展示等、棚の工夫	◎利用促進の工夫とともに、臨時休館中も予約図書貸出を継続し、目標を達成 ●行政連携展示に重点を置いて取り組む。	◎評価
	レファレンス協同データベース登録件数	30件	32件 (33件)	106% [5]	A	・実際の調査相談内容や郷土に関するテーマを選定し登録 ・併せて調べ方マニュアルも登録	◎スケジュール通りに作業を進め、目標を達成	◎高く評価
	SNSへの記事掲載回数	24回	65回 (0回)	271% [5]	A	・9月からツイッターの独自アカウントを設置し、情報発信開始	◎臨時休館情報等の発信もあり、目標を大きく上回った。 ●ツイッターの特性に合わせた投稿内容の工夫、他館フォローによる情報の周知・拡散に取り組む	◎展示情報のきめ細かい発信を評価 ●若者向けの発信の積極的な実施を期待
② 読書に困難のある県民へのサービスの充実	サビエ資料の貸出冊数	220点	233点 (198点)	106% [5]	A	・バリアフリー読書の展示・障害者サービス紹介 ・市町村立図書館へ県立図書館サビエ資料活用呼びかけ ・関係機関と連携し相互PRや音訳協力者研修等を実施	◎市町村図書館利用者からの利用も伸び、目標を達成 ●視覚障害に限らず、障害者への読書支援に努め、団体への積極的なサービスPRを実施する。	●サビエ図書館サービスについてのPRは引き続き必要
③ こどもや若い世代の読書推進	-	-	-	-	-	・コロナ禍で利用休止していたこども図書室の換気機能を向上し、利用再開 ・県立高校へのアンケートを実施し、協力貸出を強化	◎新しい様式を取り入れ、子ども図書室を再開 ●読みきかせイベントの再開を準備するとともに、司書のおすすめ本セット貸出等の代替イベントに取り組む。	●就学前児童やその保護者、園等への施設に対する情報発信が必要 ●趣向をこらした図書紹介を期待

項目名	指標	R3目標	R3実績	達成率 [評価]	総合 評価	主な取組	自己評価コメント	図書館協議会委員意見
3 県民の生涯にわたる学びへの貢献								
④ 県立図書館職員の能力の向上								
職員の研修機会の充実	職員全体研修会の開催	2回	2回 (1回)	100% [5]	A	・蔵書点検に係る休館期間(6月)及び仕事始め(1月)の計2回実施 ・サービス向上につながるテーマを選定(認知症サポート講座)	◎職員全員の受講機会を確保し、目標の2回実施 ●全体研修の機会を確保し、図書館全体のレベルアップにつなげる。	なし
	館内研修における職員の発表回数	10回	6回 (5回)	60% [1]	E	・受講した研修について報告、成果共有する「伝達研修」を実施	●研修機会を確保する一方で、発表の機会確保が十分でなかった。 ●伝達研修のあり方を検討し、全体のスキルアップにつながるよう工夫する。	●自らの計画の達成は不可欠。計画的な実施による達成は可能であったものであり、十分な反省・検討が必要 ●研修成果等を職員間で共有し、業務にフィードバックする「体制づくり」自体の検討が必要
	職員の研修・会議等参加平均回数(全体研修を除く)	2回	2.6回 (0.8回)	129% [5]	A	・オンライン研修への参加 ・受講機会の確保	◎受講機会が得やすいオンライン研修への参加により目標を上回った。 ●可能な限り職員の研修機会を確保し、職員の育成と能力向上を図る。	◎着実な実施を評価 ●県立図書館司書の能力向上・蓋種は、県内図書館全体に影響し非常に重要 ●オンライン環境の充実と、研修機会の確保が必要

新潟県立図書館協議会 概要

I 新潟県立図書館協議会

- (1) 根拠法令：図書館法に基づき新潟県立図書館協議会設置条例により設置
- (2) 目的：図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べるための機関
- (3) 任期：令和2年8月1日～令和4年7月31日（2年間）

II 協議会委員

（令和4年4月26日現在）

区分	氏名	所属・職名	当初就任年月日
学校教育関係者	にしじょう まさひと 西條 正人	新潟県学校図書館協議会 理事 新潟県中学校図書館協議会 副会長 上越市立三和中学校 校長	令和2年4月28日
	わたなべ つよし 渡辺 剛	（就任時） 新潟県高等学校図書館協議会 地区理事 新潟県立新津高等学校 校長	平成31年4月22日 （令和4年4月25日退任）
	こばやし ひであき 小林 英明	新潟県高等学校図書館協議会 地区理事 新潟県立新津高等学校 校長	令和4年4月26日
社会教育 関係者	よしだ えつこ 吉田 英津子	（就任時） 新潟市立中央図書館 館長	令和2年8月1日 （令和4年4月25日退任）
	あらい なおみ 新井 直美	新潟市立中央図書館 館長	令和4年4月26日
家庭教育 関係者	いのまた せいこ 猪俣 清子	社会福祉法人愛稚会翠松保育園園長 新潟市私立保育協会 副会長	令和2年8月1日
文化活動 関係者	たかはし おみまる 高橋 郁丸	新潟県民俗学会理事 漫画家、新潟妖怪研究所 所長	平成28年8月1日
学識経験のある者	こじま ひでお 小島 秀雄	新潟大学附属図書館 館長 新潟大学理学部教授	令和2年4月28日
	おぎわら さちこ 荻原 幸子	専修大学経営学部 教授	平成24年8月1日
	さいとう よしき 斎藤 義樹	社会福祉法人新潟県視覚障害者福祉協会 理事 新潟県視覚障害者情報センター長	平成30年8月1日
	あさひ ひとみ 朝日 仁美	公募	令和2年8月1日
	つるだ くにこ 鶴田 邦子	公募	令和2年8月1日

III 令和3年度審議状況

- (1) 第1回（令和3年10月5日）
議事： 令和2年度の運営に対する評価（報告）について
令和3～5年度の運営基本指針と行動計画の進捗状況について
- (2) 第2回（令和4年3月23日）
議事： 令和3年度の運営に対する評価（案）について
令和4年度の運営基本方針（案）について